

FIXING DEVICE FOR CAR UNDER ILLEGAL PARKING

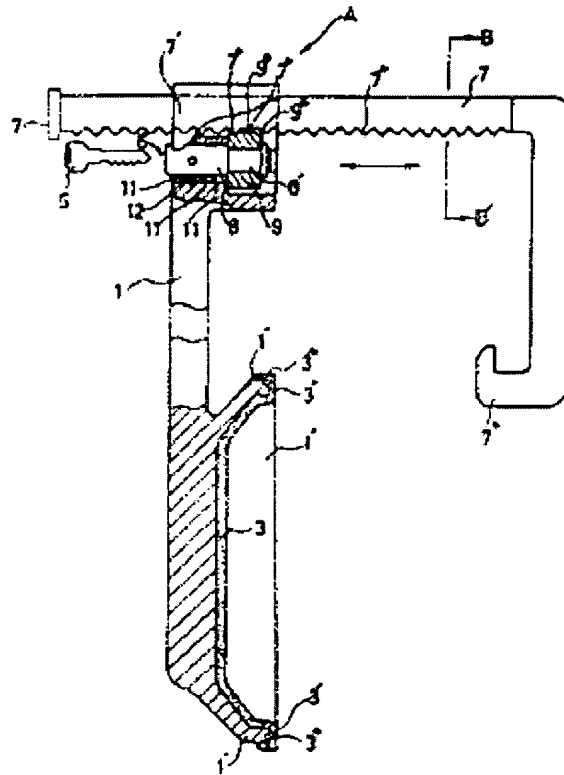
Patent number: JP58076348
Publication date: 1983-05-09
Inventor: WADA TAIZOU
Applicant: KOKUSAN KINZOKU KOGYO KK
Classification:
- international: B60T3/00
- european: B60R25/00B2; B60T3/00
Application number: JP19810172902 19811030
Priority number(s): JP19810172902 19811030

Report a data error here

Abstract of JP58076348

PURPOSE: To offer a device to secure control of parking violation by applying a fixing device to a wheel of the car under violation against parking regulations, by locking it and thereby hindering the driver from driving away.

CONSTITUTION: A bent part 1' of No.1 fixing member 1 is fitted at a wheel cover outside the wheel as well as a folded part 7" of No.2 fixing member 7 is located inside the wheel 2, whereafter No.2 fixing member 7 is slid toward the wheel side to detain the folded part 7" with the wheel. In this condition, a rotor 8 is turned by a key 5, and a cog 9" on a rotary member 9 fastened to this rotor 8 is put in meshing with a cog 7'" on No.2 fixing member 7. Thus No.2 fixing member 7 is hindered from moving.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭58—76348

① Int. Cl.³
B 60 T 3/00

識別記号

庁内整理番号
7146—3D

② 公開 昭和58年(1983)5月9日

発明の数 1
審査請求 有

(全 4 頁)

⑮ 駐車禁止用固定装置

① 特 願 昭56—172902
② 出 願 昭56(1981)10月30日
③ 発 明 者 和田泰蔵
東京都大田区蒲田2丁目8番2

号国産金属工業株式会社内
④ 出 願 人 国産金属工業株式会社
東京都大田区蒲田2丁目8番2
号
⑤ 代 理 人 弁理士 入江晃

明 細 書

1. 発明の名称

駐車禁止用固定装置

2. 特許請求の範囲

1. 一端に彎曲部を形成し且つ他端に円形の貫通孔を形成すると共にシリンダー錠とこのシリンダー錠のロータに一面に曲部を形成した回動部材を設けた第1固定部材と、

非円形摺動部分に曲部を形成し且つ一端に折曲係止部を形成した第2固定部材とを設け、

前記、貫通孔に第2固定部材の曲部部分を摺動自在に貫挿し、施錠したとき回動部材の曲部が第2固定部材の曲部に啮合して第1固定部材と第2固定部材を固定することを特徴とする駐車禁止用固定装置。

2. 前記彎曲部内にゴムカバーを嵌着してなることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の駐車禁止用固定装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は車の移動を阻止する駐車禁止用固定装置に関するものである。

車の駐車場は路上に駐車できる有料の駐車場と広い敷地を駐車置場とした有料の駐車置場があり、また公園住宅などにおいては特定された場所に有料あるいは無料駐車置場がある。

路上駐車置場の場合は時間制になっていて、使用時間が経過すると、駐車違反として移動車により警察が指定する場所に運ばれるのであるが、この駐車違反となっている車に到着する前に、駐車違反車が逃げてしまうので、違反者を

十分に取締れないという問題があった。

また、公団住宅などにおいては、指定車以外の車が自由に駐車できるようになっているので、その駐車場所の所有者が違反駐車に対し、違反者に注意をしようとしても、いつの間にか、その駐車違反車が何故かへ行ってしまいうので、駐車違反者に注意を促すのに、注意事項を書いた注意書を駐車違反車のフロントガラスに貼付けるといったことがおこなわれているのであるが、このように注意しても直接違反者に言わなければ効き目がなく、そのために所有者は無断駐車に対し、管理できないという大きな問題があった。

本発明は斯る問題点を除去することを課題とするものであって、この課題はつぎの手段によ

り十分且つ満足に解決される。

本発明は車の前輪あるいは後輪に車が移動できない程度の大きさの固定装置を装着することであって、その要旨とするところは特許請求の範囲に掲記するとおりである。

以下、本発明の一実施例を図面を参照しながら説明する。

第1図は車の前輪に固定装置Aを装着した車と固定装置の側面図である。

第2図は固定装置の要部を一部切欠した正面図である。

第3図は固定装置に設けたシリンダー錠部分の分解斜視図である。

第4図は車輪に固定装置を装着した平面図である。

第5図は第2図のD—D'線に沿った左側断面図である。

第2図において、1は車輪2の外側になる第1固定部材である。この第1固定部材1の一端は円盤状の皿形に形成された湾曲部1'になっている。この湾曲部1'内にゴムカバー3が嵌着され、このゴムカバー3の外周縁3'は湾曲部1'の外周縁1'に嵌着させるための環状溝3''を形成している。

このようにゴムカバー3を嵌着させておけば、車輪2の縁りになっているカイールカバー4に傷をつけることがない。

また第1固定部材1の他端は鍵5で操作されるシリンダー錠6が設けられると共に、第2固定部材7が揺動自在に貫挿する非円形の貫通孔

7aが形成されている。

鍵5により回動操作されるロータ8の角軸8'に、角孔9'と一端側面に歯部9''を形成した回動部材9を嵌合させたあと、角軸8'の端部8''に形成した溝8'''にEリング10を嵌着させて、角軸8'に回動部材9を固着する。

11はロータ8内に設けた係止片であって、一定間隔毎に複数枚設けてある。この係止片11は、第1固定部材1内に形成した溝12に施錠時は係入している。

つぎに、車輪2の内側に係止させる第2固定部材7について説明すると、この第2固定部材7は略L形に折曲され一端は折曲係止部7''を形成し、この折曲係止部7''を車輪2の内側に係止させて、車輪2から離脱しないようにする。

また、折曲した他端の内側の側面に歯部 $7''$ を形成し、さらに端部に抜止突部 $7'''$ を形成する。この歯部 $7''$ を形成した部分は非円形の杆状であり、例えば第5図に図示するように断面角形の形状にして、第1固定部材1の貫通孔 $7'$ 内を摺動させる。

このように歯部 $7''$ を形成した第2固定部材7は非円形であるので、前記第1固定部材1に形成した非円形の貫通孔 $7'$ に挿通したとき、第2固定部材7の回転は阻止され、摺動のみが許容される。

本発明はこのように構成されるものであるから、車輪2の外側のホイールカバー4に第1固定部材1の湾曲部1'を嵌合させると共に第2固定部材7の折曲係止部 $7''$ を車輪2の内側に位置

させると、この第2固定部材7を車輪2側へ摺動させて折曲係止部 $7''$ を車輪2に係止させる。この状態において、鍵5でロータ8を回転させながら、このロータ8に固着した回転部材9の歯部9'を第2固定部材7の歯部 $7''$ に噛合させて第2固定部材7の移動を阻止する(第2図参照)。

また、この第2固定部材7を第1固定部材1より抜き取る側に移動させたいとき、すなわち固定装置Aを車輪2から外したいときは、鍵5でロータ8を前記と反対側に回転させて、回転部材9の歯部9'を第2固定部材7の歯部 $7''$ の噛合から離脱させることによりおこなえる。

本発明は上述のようになるものであるから、車輪に固定装置を装着し、さらに施錠をしておけば、車を動かすことができないので、駐車盗

反の取締りを十分におこなえるという実用的効果を奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

図は本発明の一実施例であって、第1図は車の車輪に固定装置を装着した側面図、第2図は固定装置の要部を切欠した正面図、第3図は固定装置に設けたシリンダー部部分の分解斜視図、第4図は車輪に固定装置を装着した平面図、第5図は第2図のB-B線に沿った左側断面図を要するものである。

- A…固定装置、
1…第1固定部材、
2…車輪、
4…ホイールカバー、
5…鍵、
6…ロータ、
7…第2固定部材、
7'…貫通孔、
7''…歯部、
7'''…抜止突部、
8…回転部材、
9…歯部、
10…固定部材、
11…シリンダー部

特許出願人 国産金属工業株式会社

代理人 弁理士 入 江



